

2024年1月決定予定  
(2023年6月ドラフト)

# 多摩市協創ビジョン(案)

互いにつながり、支えあい、ともにつくる地域・多摩市

はじめに

地域の負  
のループ

持続可能  
な未来へ

到達した  
い社会像

モデルエ  
リアでの  
事例

成長イ  
メージ

(参考)  
活動マッ  
チング  
ツール

しくみ・し  
かけと考  
え方

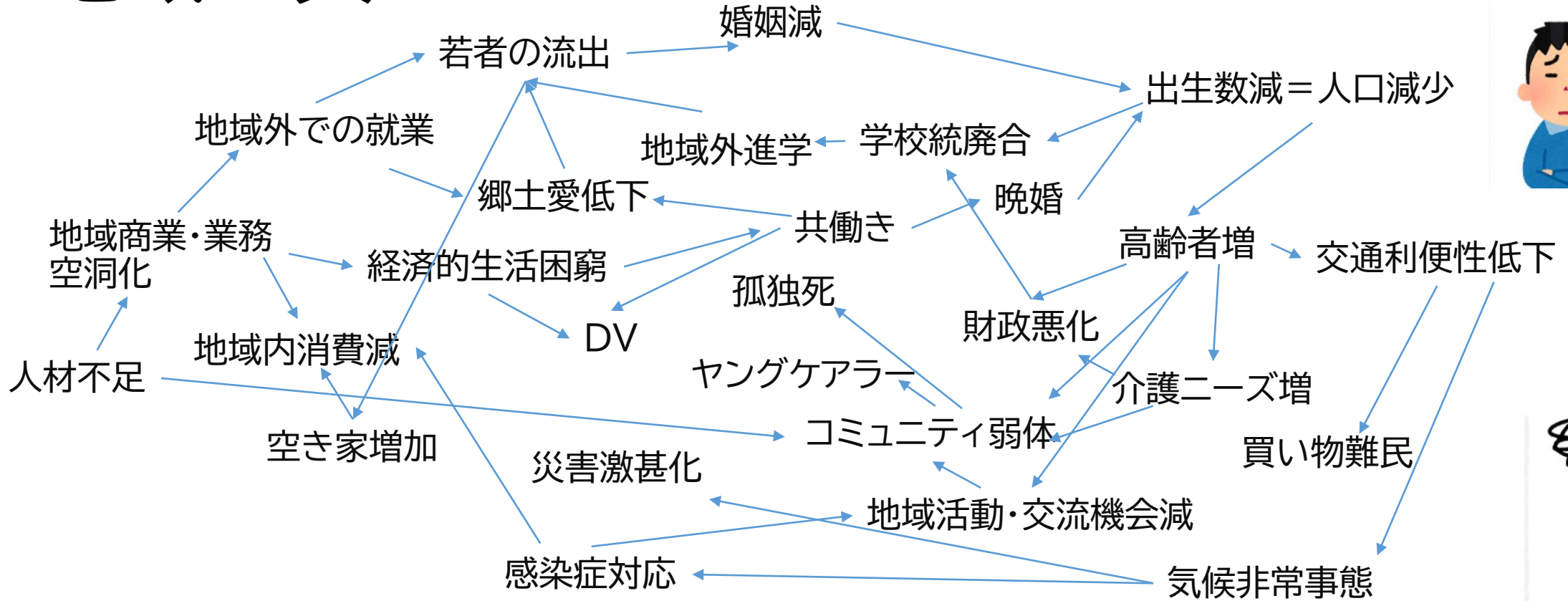
支える  
つなぐ  
掘り起こ  
す

# はじめに(なんでこれをつくったのか)

- 多摩市では、高齢化の進行、ライフスタイルや働き方の多様化、地域が抱えている課題の複雑化に加え、この3年間のコロナ禍などで、市民の皆さんの意識や行動様式が大きく変化したことに起因し、地域での活動に様々な停滞がみられています。これまで本市で進めてきた、市民主体のまちづくり、市民と行政が協働してまちづくりを将来にわたって進めていくためには、時代の変化に合わせた、新たな「しくみ」や「しかけ」が必要であると考えています。
- **(検討中)** 令和5年9月に第六次多摩市総合計画基本構想を定め、基本理念に～、また11月に定めた基本計画では～



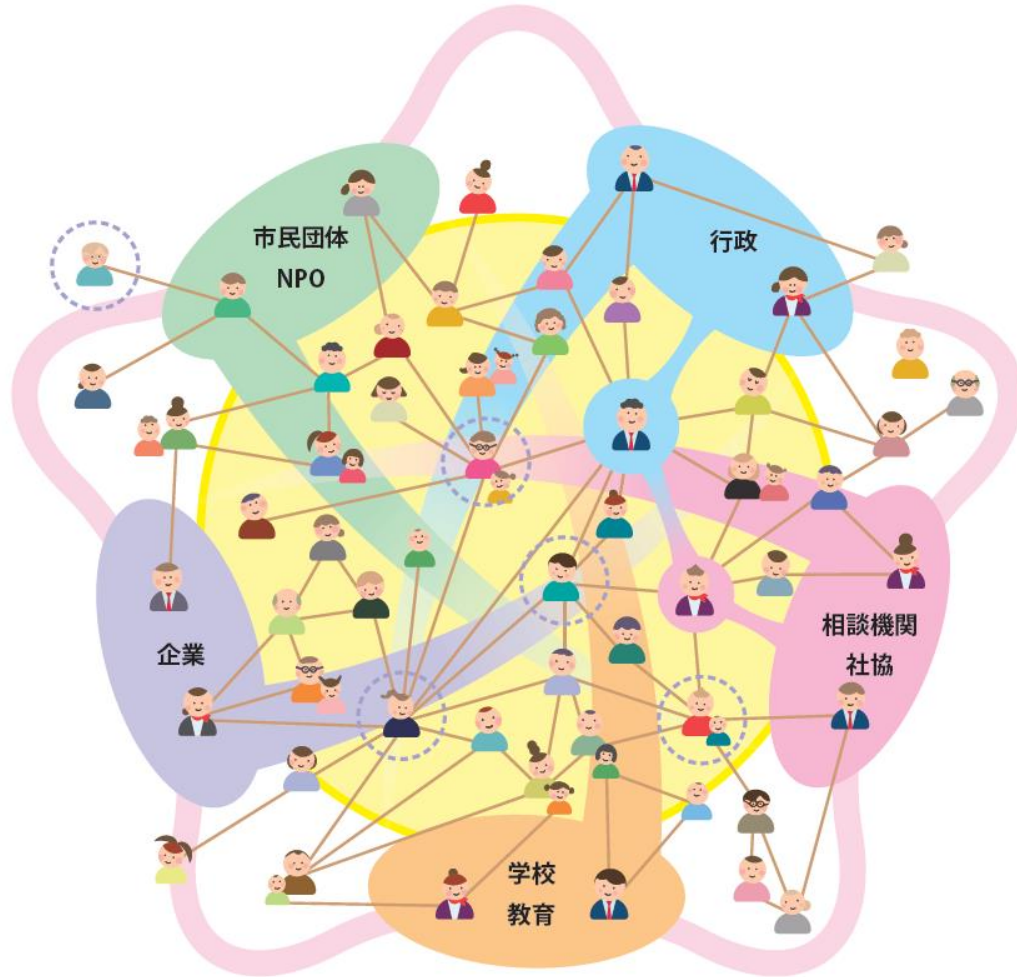
# 地域の負のループ



高齢化の進行、ライフスタイルや働き方の多様化、課題の複雑化に加え、この3年間のコロナ禍などで、市民の意識や行動様式が大きく変化し、地域での活動に様々な停滞が加速度的に進む  
 ⇒分野ごとにすべての対応は難しい  
 行政だけ・市民だけなどでの対応では解決難しい



# 到達したい地域社会像



- 困ったことを相談できる相手がいる。困りごとを解消する伝手がある。
- 顔見知りが多く、頼りになる知り合いの知り合いがたくさんいる。
- 多世代ともゆるやかにつながっている。
- 年齢や経験に関係なくやりたいことを進められる。
- 地域に関わるのが個人のメリットにもなっている。
- 多摩市のファン、まちのファンがたくさんいる。

# 実際のモデルエリアでも

(声) 自分の身近なコミュニティ活動で、自分もまわりも幸せに

- (Mさん)たま広報に掲載の市民委員やフォーラムに自ら手を挙げて参加してくれた方が、**地域担当職員**の声掛けでまわりの知人と地域活動を始めてみた事例、
- (Wさん)**無作為抽出**で届いた**ワークショップ**の案内が、自身のこれまでの携わる取組みに関連することから縁を感じて参加し、スキルを発揮して、複数の場に連続して参加された事例、
- (Sさん)ご家族が地域で接点をもち活動している方で、自身は都心で働いていて参加できていなかった方が、お父様に誘われ同席されたことがきっかけとなり、**職員との会話で、ご自身の仕事内容や個人的興味関心にマッチする場**づくりに関心をもち、**中間支援の大学ゼミ生との関係から**継続して参加してくれている事例



# 地域協創による成長イメージ

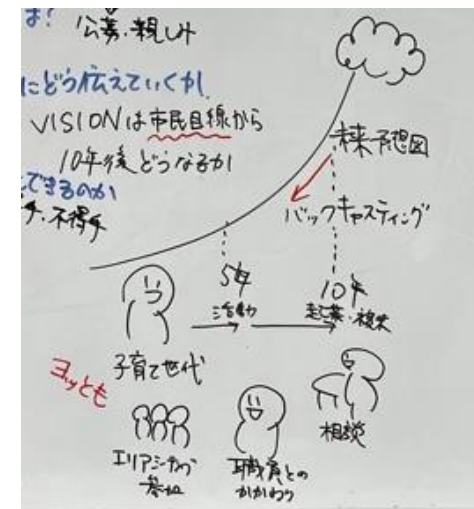
「巻き込み型」から  
「誘い出し型」へ



- 無作為のエリアミーティングへの参加から顔の見える地域のつながり
- ↓
- 地域担当職員(地域協創職員)・中間支援との関わりから地域で活動する出番が生まれる
- ↓
- 自身の仕事に生き、自分の子どもたちも地域の愛着が増し、ますます地域が自分のフィールドに



- スキルを登録して活動がマッチング
- ↓
- 得意ややりたいことで地域で起業
- ↓
- 中間支援や地域協創職員から得た地域課題をもとに仕事が拡大



# (参考)活動マッチングを進める地域ポイント

★助けてもらいたい案件を募集

★まちでやってみたいことがある！  
→多摩ラボ（仮称）の紹介

★地区協イベント、多摩市イベント、そのほか地域のイベントなど掲載したい人を募る

★多摩センター等、ポイントに賛同するお店、PRしたいお店を募集



地域共助の可視化



# 地域協創のしくみ・しかけと考え方

しくみ・しかけ

地域協創

考え方

協創

<Co-Creation>

地域協創職員制度

中間支援機能

多活動マッチング型の  
地域プラットフォーム

地域共助が可視化で  
きるしかけ

【改正後条例の定義】コミュニティ活動が推進されるよう、(市の執行機関が)必要な支援環境を整備することで、多世代、多分野にわたる協働が広がっていくこと

地域を「支える」

地域を「つなぐ」

地域の中で  
「掘り起こす」



# 地域協創のしくみ・しかけ

地域を「支える」

## (1) 地域を「支える」

### 【地域で活動する人・団体を応援するしくみの導入】

#### ● 地域協創職員制度の導入

地域協創スタッフ(専任)、地域協創サポーター(若手職員)の配置

#### ● 中間支援機能を担う団体による伴走支援

地域発の多様な活動を、地域協創スタッフのアドバイス・コーディネート・プロデュース、中間支援機能を担う団体のネットワークなどで実現

# 地域協創のしくみ・しかけ

地域を「つなぐ」

## (2) 地域を「つなぐ」

【地域で活動する人・団体が縦横につながる場や機会づくり】

### ●多活動マッチング型の地域プラットフォームづくり

地域で活動する組織・団体の再編成、多世代への呼びかけによるエリアミーティングの開催、多様な活動のマッチング

### ●中間支援機能を担う団体による伴走支援【再掲】

# 地域協創のしくみ・しかけ

地域の中で  
「掘り起こす」

## (3) 地域の中で「掘り起こす」

【新たな地域人材を発掘・育成するしかけづくり】

### ●多活動マッチング型の地域プラットフォームづくり【再掲】

### ●地域共助が可視化できるしかけの導入

ITツールを活用し、地域参加をポイント化するなど、可視化し、そのポイントを地域で地域通貨として使用できるしくみを導入することにより、大学生や若い世代の参加促進につなげる

### ●公民館、大学等との連携による市民の学び直しの場づくり

わがまち学習講座などの市主催の講座、大学の公開講座・市民講座など、地域やまちづくりに関心を持つきっかけづくりとなる場を多く提供する

### ●社会的課題や地域課題などを啓発する事業の実施